市内の公共施設等での公衆無線LANサービス（無料Wi-Fi）について

市議会 一般質問のポイント
（葛西勇人議員の質問と市の答弁をもとに作成）

1 公衆無線LAN（Wi-Fi）とは？

インターネットに接続できる無線の通信サービスです。

携帯電話回線（4G・5Gなど）



- エリアが広い
- 音声とデータを通信
- 災害時の主な通信手段

Wi-Fi回線（公衆無線LAN）



- エリアが狭い（半径数十～数百m）
- 通信速度が速い
- 災害量通信が可能
- 災害時に携帯回線を補完

2 国が進める整備の目的

公衆無線LANを地方活性化のツールとして
自治体に整備を促進しています。

観光・インバウンド



- 外国人観光客へのおもてなし
- 観光情報の発信
- 場所に応じたきめ細かい情報提供

防災・減災



- 発災時のインターネットアクセス
- 避難情報などの発信
- アプリを活用した情報提供

住民サービス・行政の効率化



- 各種施設でのインターネット利用
- 住民満足度の向上
- 行政コストの削減

3 平川市の現状

市内 11 施設に無料Wi-Fiを整備


本庁舎


尾上総合支所


碇ヶ関総合支所


文化センター


ひらかわドームアリーナ


図書館（※一部）


観光施設


主な避難施設 など

※現在11か所。今後、新庁舎前広場にも設置予定。

4 運用コスト・利用状況

料金体系

月額制
月額 **73,370円**
（11施設分）

年額 約 **88万円**

利用者数

令和元年12月～令和3年8月
（21か月）

利用者数 **11,850人**
月平均 **564人**
1日平均 **19人**
（30日換算）

コロナ禍でも少ない状況

5 現在の利用イメージ



市ホームページに接続

平川市ホームページ
- くらしの情報
- 観光情報
- 防災情報 など

市の様々な情報を入手できるが…

災害や観光等の積極的な情報発信までは至っていないのが現状

6 セキュリティー・利用制限

1アクセスポイントの接続可能端末数
256台（市全体で同時アクセス300台まで）

1回の利用時間 60分
（ゲームや特定サイトの長時間閲覧の抑止、災害時に多くの人が利用できるようにするため）

特定サイトの接続制限
プロバイダのサービス終了により、現在は制限不可。
設置場所での注意喚起や、家庭・学校での情報モラル教育で対応。

市議会での主な質疑応答

1 料金・ランニングコスト


議員

Wi-Fiの料金体系とランニングコストは？


総務部長

月額制で、11施設で月額73,370円です。（年額 約88万円）

2 設置場所


議員

設置場所は規約の目的に合致しているか？図書館などにも設置すべきでは？


市長・総務部長

本庁舎や避難施設、観光施設など11施設に設置し、目的に合致しています。新庁舎前広場にも設置予定です。図書館はエントランス周辺のみで館内全体はつながりませんが、今後検討します。

3 災害・観光等の情報発信（ソフト面）


議員

災害や観光情報の発信サービスは行っているか？スタンプラリーなどの活用もできないか？


市長

接続すると市ホームページにつながり情報取得はできますが、積極的な発信まではできていません。今後、ホームページの内容改善やQRコードの活用などで、周知・情報発信を強化します。

4 セキュリティー・接続時間


議員

1回60分の制限をもっと長くできないか？有害サイトの制限は？


総務部長

60分は長時間利用の抑止と災害時の公平な利用のためです。制限時間は現状維持します。プロバイダのサービス終了により有害サイトの制限はできません。注意喚起と情報モラル教育で対応します。

5 オンライン会議などの利用促進


議員

コロナ禍でオンライン会議が増加、設置場所の拡大やポケットWi-Fiの貸出しを町会や通いの場などにも広げられないか？


総務部長

尾上・碇ヶ関総合支所、文化センター、ひらかわドームアリーナの4施設でポケットWi-Fiを整備し、貸館時に貸出しする予定です。町会や通いの場などへの外部貸出しは、現在考えていません。今後、条件が整えば貸出し施設の拡大は検討します。

6 利用促進に向けた提案


議員

利用者が1日平均19人と少ない。看板や案内表示で周知を強化すべき。観光地を巡るスタンプラリー、災害時の多言語情報アプリなども検討すべき。


総務部長

周知を強化し、看板・ホームページ・QRコードなどで利用促進を図ります。観光協会とも連携し、観光・防災での活用策を検討します。

議員の主な提案・要望

- ✔ 図書館など学習の場へのWi-Fi設置拡充
- ✔ 案内看板の設置など、利用促進の強化
- ✔ 観光スタンプラリーや多言語の防災情報など、ソフト面の充実
- ✔ 町会や通いの場、自主防災組織へのポケットWi-Fi貸出しの検討
- ✔ 接続時間の延長の検討

今後の方向性（市の考え）

- ✔ 新庁舎前広場への設置を予定
- ✔ 看板・ホームページ・QRコードで周知を強化
- ✔ ポケットWi-Fiは4施設で貸出し開始（今後、条件が整えば拡大を検討）
- ✔ 利用方法やホームページの内容を検証し、利便性向上に向けた改善を実施
- ✔ 観光・防災での情報発信強化を、関係団体と連携して検討